

KURANDO ユーザー会

ロジメーター活用事例

株式会社アッカ・インターナショナル



KURANDO ユーザー会
ロジメーター活用事例

1. 会社概要
2. ロジメーターの利用状況
3. ロジメーターの主な活用事例
4. 今後の展開

会社概要

会社名	株式会社アッカ・インターナショナル
事業内容	<ul style="list-style-type: none">• EC向けバックヤード業務のフルフィルメント事業(物流・スタジオ・CS)• 在庫一元管理システム「ALIS」およびWMS「ONE」の開発・提供事業• 物流領域のコンサルティング事業
資本金	2,000万円
設立	2006年1月
代表取締役	秀 洋一
従業員数	507人(2025年2月28日現在)
本社所在地	〒107-0062 東京都港区南青山6-3-9 MAビル3F

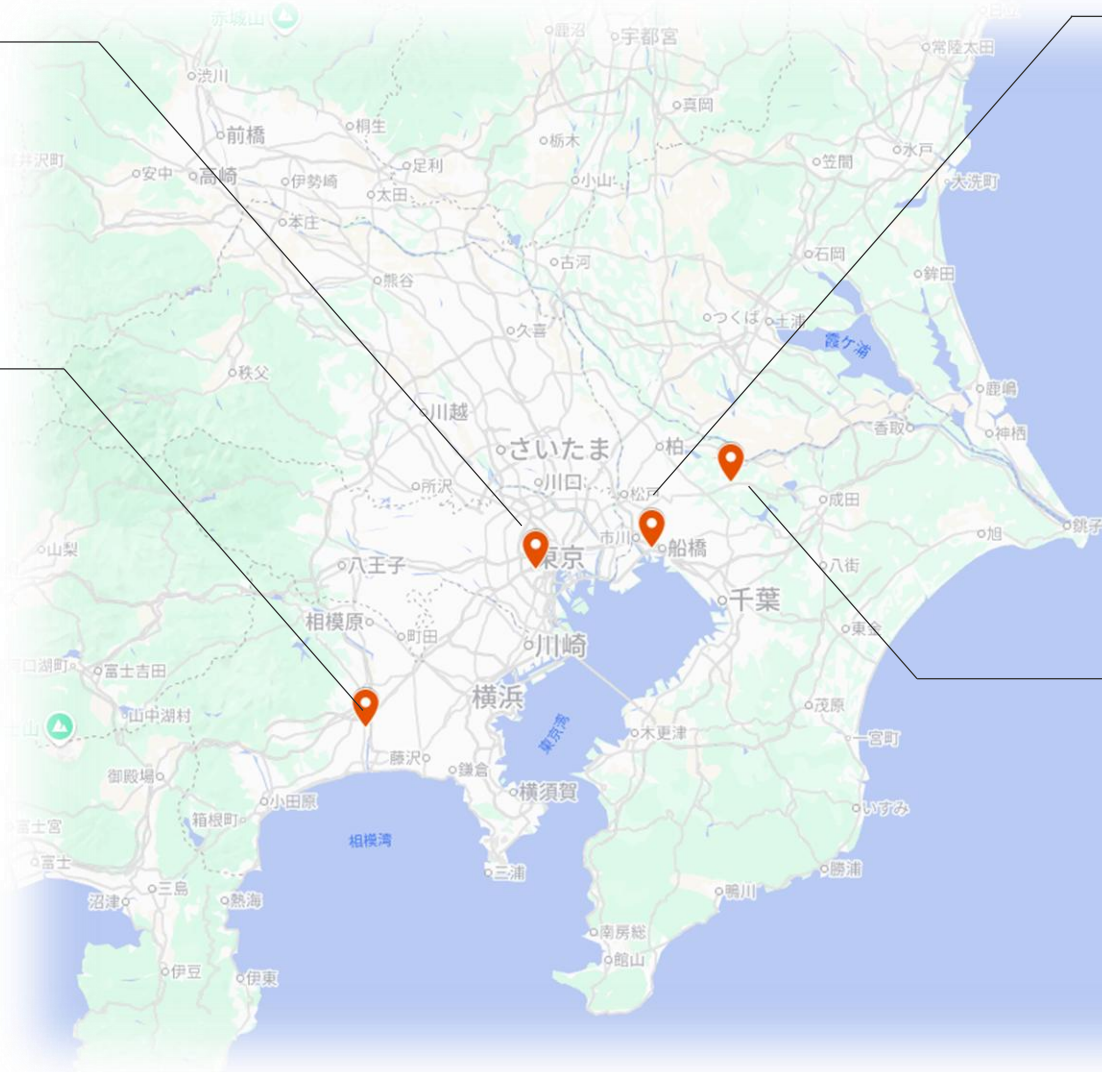
会社概要 - 拠点情報

東京本社

- 東京都港区南青山
- 管理部門やシステム開発部門の拠点

平塚物流拠点

- 神奈川県平塚市
- 自社WMS
- 4,000坪
- 主にアパレル用品を取扱い



市川物流拠点

- 千葉県市川市
- 自社WMS
- 31,000坪
- 主にスポーツ用品を取扱い



千葉物流拠点

- 千葉県印西市
- 自社WMS
- 12,000坪
- 主にスポーツ用品を取扱い



ロジメーターの利用状況

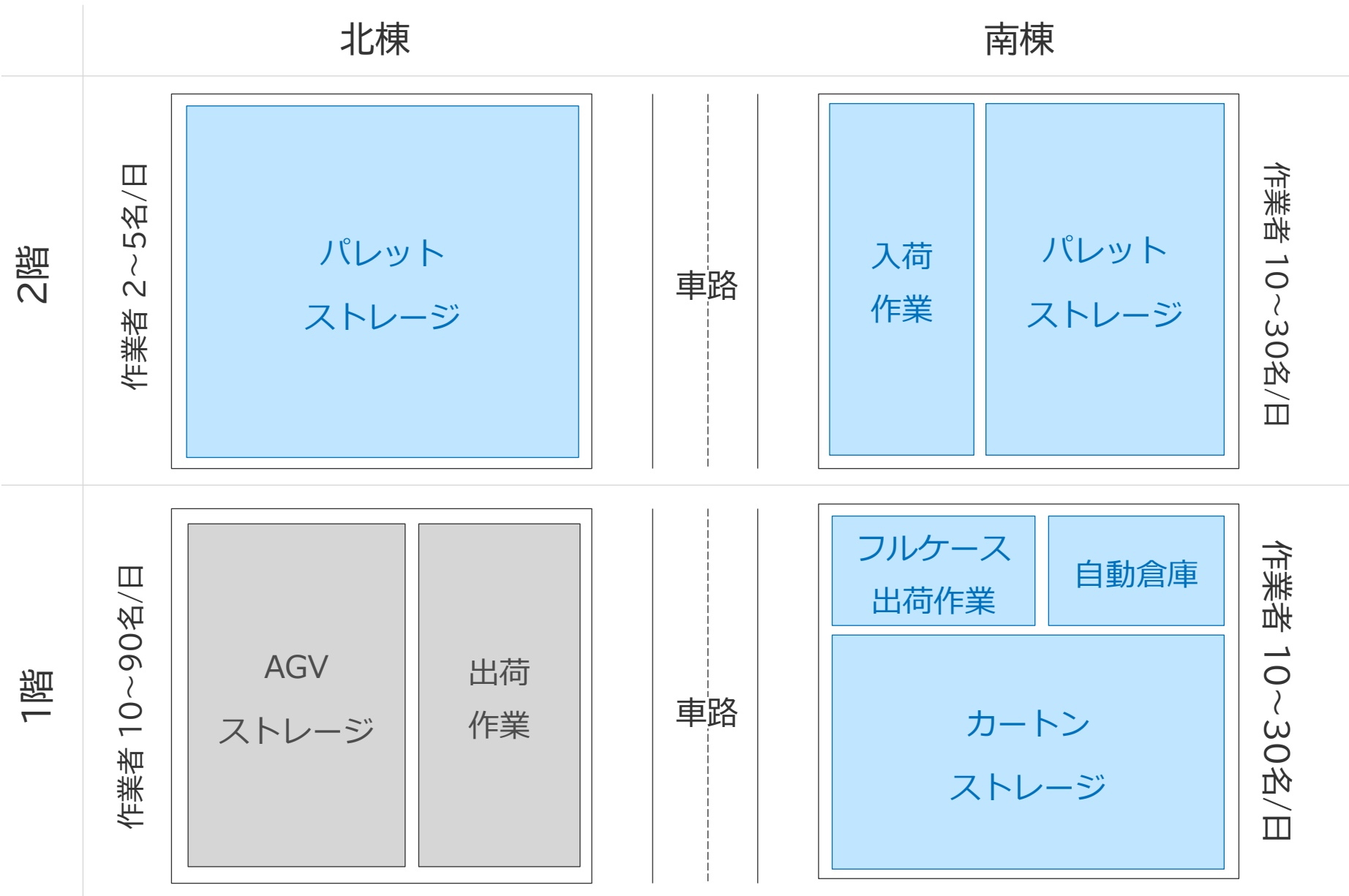
物流拠点	スペース	作業人数/日	出荷量/月	ロジメーター	ロジボード	ロジスコープ
市川	31,000坪	通常期:50名 繁忙期:150名	通常期:50万点 繁忙期:100万点	全エリアで 利用中	入荷エリア及び 一部出荷エリア で利用中 (API連携済み)	—
平塚	8,000坪	通常期:80名 繁忙期:140名	通常期:60万点 繁忙期:90万点	全エリアで 利用中	—	—
千葉	12,000坪	通常期:180名 繁忙期:280名	通常期:35万点 繁忙期:45万点	全エリアで 利用中	—	—

市川物流拠点におけるロジボード機能の活用事例を中心に紹介

ロジメーターの利用状況 - 市川物流拠点

ロジボード導入済み

ロジボード未導入



ロジボード導入背景

主要な出荷作業は、北棟1階の出荷作業エリアで実施するため、各種ストレージからピックアップしたカートンを北棟1階に転送する必要がある。

出荷オーダーの内容により、転送対象となるカートンが大きく変動するため、転送チームの作業計画および人員配置を可視化することが難しい。人員の過不足の検知が遅れ、残業や手余りが発生している。

ロジメーターの主な活用事例 - 作業進捗の可視化と人員最適化の実現

ロジボード導入前

前述にあるカートンの転送チームについては、経験豊富な現場管理者による裁量判断が中心となっていたため、作業進捗と人員調整が属人化してしまっていた。

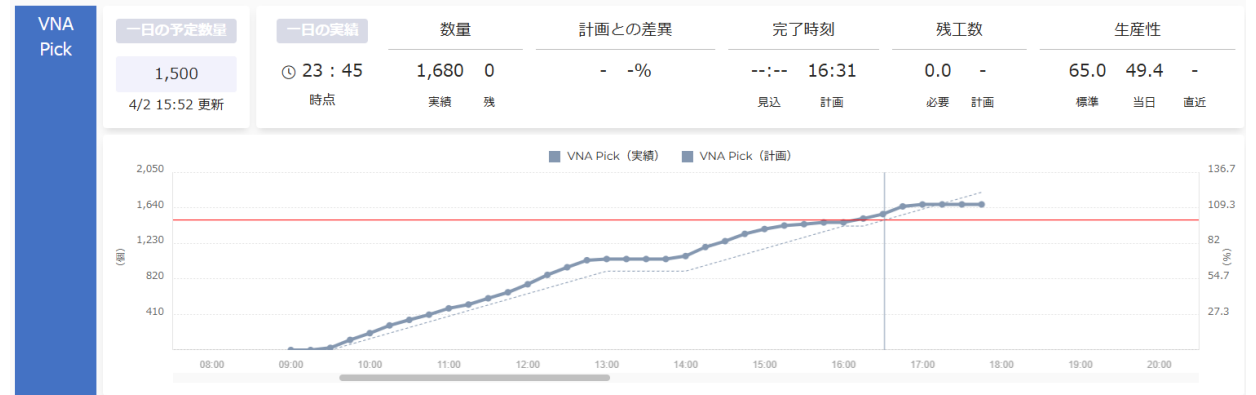
- セール時は想定外の突発的な残業がたびたび発生
- 転送チームは残業している一方で他チームは定時退社している状況がたびたび発生

ロジボード導入後

作業計画と作業進捗をロジボードで可視化することができた。また、1時間ごとに進捗を確認して、チーム内およびチーム間の人員を調整することで修正後の計画も可視化することができた。

- 想定外の突発的な残業がなくなった
- 転送チームの残業を削減することができた

※昨対比22%の残業時間削減



工夫したポイント

- ✓ 弊社で利用している勤怠管理システムからダウンロードしたシフトデータをロジボード向けに変換する簡易ツールを用意
- ✓ 弊社で自社開発しているWMSとロジボードをAPIで連携(作業実績を15分間隔で自動更新)
- ✓ 転送チームの主な役割であるフルケース出荷作業とカートン転送作業のうち、比較的計画の立てやすいカートン出荷作業のエリアから導入を先行スタートした。
- ✓ 現場業務多忙により運用の定着に懸念があったため、まずはマネージャー自らロジボードを運用しながら、運用の課題を解消したうえで現場管理者に業務を移管した。

ロジメーターの主な活用事例 - 作業進捗の可視化と人員最適化の実現

タイムリーに人員を最適化できた具体例


① 
転送チーム
現場管理者


12時時点でフルケース出荷作業の上振れが発生。
当初計画の1,400カートンで20時終了予定に対して、
2,200カートンで22時終了予定となる見通し。

一部作業を翌日に持ち越すことで14時から2名を応援に出せる。

② 
入荷チーム
現場管理者



③ 
検品チーム
現場管理者

④ 
マネージャー

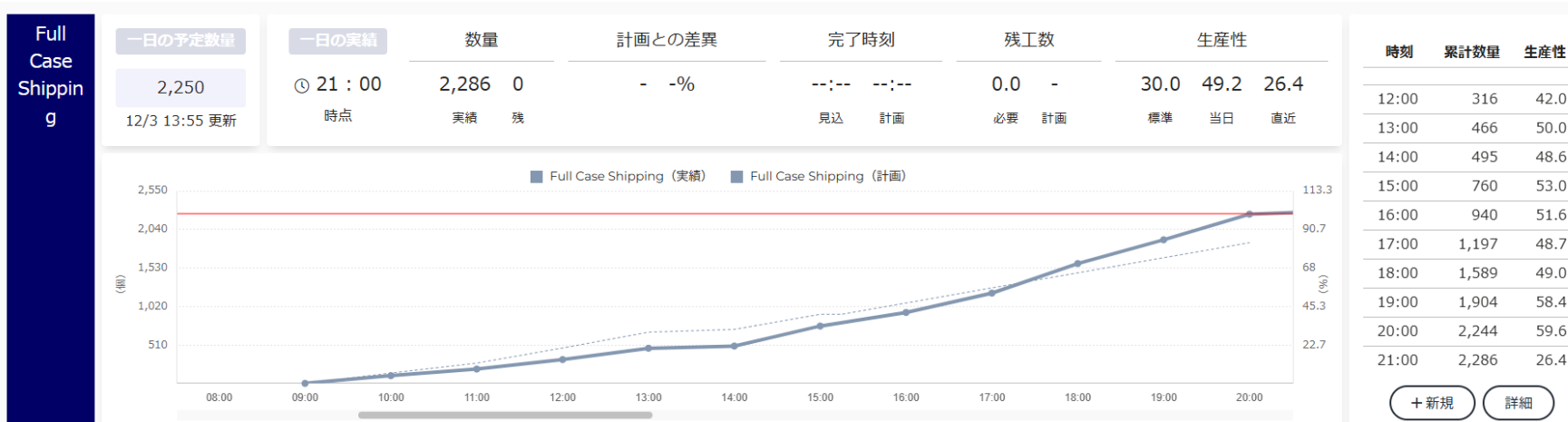
計画の変更を承認する。

ロジボード導入前

- ✓ 各チームで作業の予定と実績をExcelで管理していたため、チームにより管理方法にばらつきがあった。
- ✓ 計画変更後の可視化が乏しかったため、計画変更後の終了予定時刻を現場管理者の口頭報告に頼らざるを得ないこともあった。
- ✓ 計画変更後の可視化が乏しかったため、チーム間で人員を調整しづらく、消極的なスタンスになることが多かった。

ロジボード導入後

- ✓ 各チームでの作業の予定と実績をロジボードで統一することにより、管理方法を統一することができた。
- ✓ 客観的なデータにもとづき各チームの現場管理者が納得感を持って人員を調整できる。
- ✓ 人員調整をシミュレーションして、計画をスムーズに変更することができた。



今後の展開

市川物流拠点

ロジボードが未導入となっている出荷エリアについて、ロジボード導入を検討する。

他拠点(千葉／平塚)

市川物流拠点での導入実績を踏まえ、他拠点へのロジボードの横展開を検討する。

機能追加要望

個人別の生産性をロジボード可視化することにより、効率の良い作業者を模範とすることや効率の良くない作業者をフォローアップすることを可能としたい。

その他、既に要望を提出している内容を含め、ロジボードをより良くするために、今後も連携させていただきたい。

Thank you

